

日本医史学雑誌 第65巻 第2号

目 次

第120回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

プログラム

理事長講演

医史学が解き明かしたこと、物語ること……………坂井 建雄 161

特別講演

I 川原病（球脊髄性筋萎縮症）

——名古屋における記載，病態，治療の研究史——……………高橋 昭 162

II 韓国医史学の歩みと展望……………申 榮全 164

シンポジウム「医史学の新たな展望——健康長寿社会を拓いた先哲から学ぶ——」

趣旨説明……………川嶌 真人 165

1 エドワード・ジェンナーの博物学とその師ジョン・ハンターの外科学

……………渡部 幹夫 167

2 華岡流の門人たちの痕跡から見た青洲の教え……………土手健太郎 168

3 伊藤圭介の先見性と意志の強さ……………山内 一信 169

4 北里柴三郎を北里柴三郎たらしめているもの

研究，人材，そして「私立」……………都倉 武之 170

市民公開講座「移り行く疾病像とその社会医学的対応」

趣旨説明……………青木 國雄 171

1 肥満に関連する疾病の増加と対策……………八谷 寛 172

2 がん治療薬開発の歩みと将来展望……………上田 龍三 173

3 がんリスク要因としての遺伝子に関して

——分子疫学研究から考える——……………松尾恵太郎 175

教育講演

I 日本の病院史（通史）編纂から解ってきたこと……………福永 肇 176

II ノーベル賞と名古屋大学——成果を生んだもの……………辻 篤子 178

特別展示

後藤新平……………蒲生 英博，直江千寿子，山内 一信，高橋 昭 179

一般演題

1 町医山科言経の開業背景：

人間交流と諸ネットワークについて……………アンドリュー・ゴープル 181

2 京都の外療道具師 真龍軒安則……………岩原 良晴 182

3 股野玉川と南木龍江……………西巻 明彦 183

4 歴史のなかの人……………岡田 靖雄 184

5	華岡青洲の「紅毛外科集」と京都におけるオランダ流外科の修業	松木 明知	185
6	華岡青洲の乳癌患者 33 名の術後生存期間を基にした 手術成績の表し方の検討	金谷 貢, 金谷 桂子	186
7	種痘に用いられたウイルスは何か?	加藤 茂孝	187
8	ポンペの『簡約薬物学提要』と司馬凌海の『七新薬』と『朋百氏薬論』	相川 忠臣	188
9	『婚姻秘術抄』再考	永塚 憲治	189
10	『房事養生鑑』に描かれている女性生殖器について	ヴィグル・マティアス	190
11	信濃国小諸白倉松軒信煥・加川隆礼兄弟の産科術（回生術）記録	鈴木 則子	191
12	無資格者による自宅分娩から医療機関への移行： 沖繩返還前後の出産環境の変化	中村 安秀	192
13	英国ロンドンにおける医学博物館の現状	牧野 洋, 土手健太郎, 菊地 博達	193
14	郡上藩医学学校の於東京医学修行生徒達	森永 正文	194
15	吉雄流外科 1 瀉血篇	板野 俊文	195
16	熊本藩の医学教育と物産学	松崎 範子	196
17	瘀血吸圧法について	清野 充典	197
18	戦前・戦中期女子歯科留學生の実態 ——東洋女子歯科医学専門学校を事例として——	永藤 欣久	198
19	済生学舎の後身 日本医学校（現在の日本医科大学）校長 山根正次の再評価	殿崎 正明, 山本 鼎	199
20	学用患者制度について	脇之蘭真理	200
21	研医会図書館所蔵 16 世紀から 19 世紀の西洋医書および科学書	安部 郁子	201
22	『コペンハーゲンの医学・哲学紀要』における収録論考の主題と傾向	安西なつめ	202
23	17 世紀の医学学習指南書 ——Kestner『医学書誌』記載書籍の分析——	澤井 直	203
24	『医方類聚』に引用された『傷寒論』は北宋小字版だった	真柳 誠	204
25	清医趙淞陽に関する記録について	郭 秀梅	205
26	『方極』関連医籍による奥田謙蔵の古方研究	星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦	206
27	伏気学説の文献回顧と分析	莊 明仁	207
28	経脈の三陰三陽説の成立過程——老官山医簡から——	猪飼 祥夫	208
29	『経穴示蒙』に見える書き入れについて	加畑 聡子, 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦	209
30	寿閑系の鍼術流派の分派活動について	長野 仁	210

31	経絡治療の普及活動について……………	周防 一平, 小田口 浩, 花輪 壽彦	211
32	『医方類聚』引用の『活人心』について……………	劉 青	212
33	「台湾醫學史學會」の学会活動 ——2018年台湾醫學史學會暨學術檢討會から得た知見——……………	福永 肇	213
34	整骨新書(1810)における解剖学……………	木村 明彦, 木村 直明	214
35	整形外科医の先達・各務文献〜二百回忌法要を終えて……………	今井 秀	215
36	医の博物館所蔵の解剖絵巻「解観大意」について……………	佐藤 利英, 樋口 輝雄	216
37	『平常流機道問答』について……………	池内早紀子	217
38	『養生問對 上』について……………	趙 菁, 瀧澤 利行	218
39	『医学授幼鈔』について……………	木場由衣登	219
40	『瀧澤路女日記』(1849)にみる母親による看病の実態……………	平尾真智子	220
41	京都書林仲間の医書重板・類板係争……………	海原 亮	221
42	長州宇部福原家(萩藩永代家老)家来医・林家旧蔵の蘭方医学書について……………	中澤 淳, 亀田 一邦	222
43	佐久間洋行旧蔵書について……………	清水 信子, 町 泉寿郎	223
44	手術のランダム化比較試験の歴史 ——1940年代に中山恒明らが開発した頸動脈球別出手術——……………	津谷喜一郎	224
45	新発見の日本医師会内部文書による占領期の医薬分業論争に関する考察……………	杉田 聡, 田中 誠二, 丸井 英二	225
46	戦後占領期における「公衆衛生列車展覧会」に関する考察 ——県軍政部レポートの内容——……………	田中 誠二, 杉田 聡, 丸井 英二	226
47	筑前国須恵の眼科医 9代田原養伯貞一……………	上園 慶子	227
48	日本における緑内障薬物治療の経過について……………	園田 真也	228
49	網膜芽細胞腫：診断と治療の歴史I……………	柳澤 隆昭	229
50	1928年6月8日東京学士会館開催のスイス・バーゼル大学耳鼻科 ジーベンマン教授追悼会……………	高橋 薫, 高橋日出雄	230
51	わが国におけるパラリンピック競技の父——中村 裕博士……………	小林 晶	231
52	ストック・マンドヴィル病院：パラリンピック揺籃の地……………	柳澤 波香	232
53	日本人移民一世がハワイで経験した健康に関わる問題……………	山崎 由花	233
54	日清戦争における雇員医師について……………	鈴木 紀子	234
55	1890-91年帝国日本の「ツベルクリン」臨床実験 ——「検証報告」を検証する——……………	月澤美代子	235
56	日本統治下台北における二つの精神病院の成立と展開： 私立養浩堂医院と官立養神院……………	橋本 明	236
57	易経, ユングと共時律……………	権藤 寿昭	237
58	福井コレクションに遺された幻の病院船「大和丸」の痕跡……………	柳川 鍊平	238
59	ゲーテと医療(第4報) ——とくに彼の作品に描かれた医学的諸問題——……………	鈴木 重統	239

60	明治政府お雇いドイツ人医師ユリウス・カール・スクリバ ——外科医と学外活動の記録——	高橋日出雄, 高橋 薫	240
61	近代腹部外科の推進者 Theodor Billroth 関連史蹟について	佐藤 裕	241
62	ペラグラ—— Josef Goldberger の生涯と業績——	伊藤 泰広	242
63	ベルツ博士の温泉医学への情熱	松田 博子	243
64	渋沢栄一の社会事業（医療・福祉関係）への関わりの時代的変遷について	稲松 孝思	244
65	栗田静枝の足跡 ——我が国の診療情報管理の開拓者——	村井はるか, 高橋 正樹	245
66	近代わが国の平均寿命延長の年齢構造と医療・公衆衛生の役割： 第4回～22回生命表より	逢見 憲一	246
67	わが国の「老衰死」の過去・現在・未来	丸井 英二, 杉田 聡, 田中 誠二	247
68	イブン・スィーナ（アヴィセンナ）『医学典範』の東西における 注釈伝統	矢口 直英	248
69	モンゴル時代の漢語イスラム医学書『回回薬方』と 中世イスラム医学書との関連についての一考察 ——第30巻雑證門を中心に——	尾崎貴久子	249
70	平安京施薬院関連遺跡出土医薬木簡再考	多田 伊織	250
71	道元禅師の死	葉山美知子	251
72	日本医薬文化史 第1報 古代日本の医薬神について	辰野 美紀	252
73	『医心方』巻二における治療禁忌と実際	島山奈緒子	253
74	平安貴族社会にみる病気治療の諸相	坂本 陽子	254
75	古代における疾病観, 医療観について	黒野 伸子, 大友 達也	255
76	向井元升『庖厨備用倭名本草』の底本・李東垣『食物本草』について	岩間眞知子	256
77	江戸考証学者による『本草和名』の研究	武 倩	257
78	杏雨書屋所蔵の黒川文庫「本草」について ——早川佐七の植考書屋との関係——	吉川 澄美	258
79	西忍『藪明集』における田代三喜と曲直瀬道三の能毒書の影響について	鈴木 達彦, 平崎 能郎, 並木 隆雄	259
80	名古屋における医薬系博物館の萌芽 ——大須地区で開催された博覧会と博物館——	野尻佳与子	260

誌上発表

81	群馬県医学校の生徒について	須長 泰一	261
82	西鶴作品にみる身体に関する語（七）	計良 吉則	262

83	国立公文書館内閣文庫所蔵明刻本『必用医学須知』『明医指掌』について	宮川 隆弘	263
84	新出の古矢知白の著書『傷寒論正文復聖解 附. 異名十有五湯辨』	町 泉寿郎, 清水 信子	264
85	福井崇蘭館旧蔵の古活字版医書.....	小曾戸 洋	265
86	『老師雑話記』の脈法	中川 俊之	266
87	森鼻宗次と彌性園の医師.....	田中 祐尾	267
投稿規定.....			273
編集後記.....			275